

界

全国23か所に展開する「王道なのに、あたらしい。」温泉旅館ブランド

界は、星野リゾートが運営する日本初の温泉旅館ブランドです。現在、全国23か所に展開しており、今後数年かけて日本有数の温泉地に約30か所展開し、日本旅の拠点となることを目指しています。「王道なのに、あたらしい。」をテーマに趣のある心地よく快適な空間で、ホスピタリティ溢れるスタッフが旅の醍醐味である「地域」や「季節」へこだわり、その土地ならではの旅の提案をします。



界の4つの約束

1.界は、現代に合ったくつろぎを創造した空間です。

和の趣を大切にしながらも、洗練された心地よさ。伝統的でありながらも、自由にくつろげる創意工夫。現代の感性に合った快適さを備えている、上質な温泉旅館です。

2.界は、季節を捉えたご当地が際立つ滞在を提案します。

その土地ならではの旬の食材を使った「日本旅会席」、その土地ならではの文化を体験する「ご当地楽」や「ご当地部屋」が、その地の滞在を色濃く彩ります。全国の界を巡ると、その数だけ日本の旅を満喫できます。

3.界は、その地域に精通したスタッフがお迎えします。

日本のおもてなしを大切にするスタッフが、お客様に寄り添った旅の提案やサービスを提供しています。

4.界は、湯治文化を現代に受け継ぎます。

温泉を楽しみ、より効果を感じていただくために「うるはし現代湯治」を提案しています。

湯船に浸かるだけでなく、その地域ならではの泉質にあわせた入浴法、湯上がり時間の過ごし方などを知り、リラックスを得られる温泉滞在となります。

界ブランド共通の4つのおもてなし

1. 居心地のよさとその土地の個性を追求した客室「ご当地部屋」

各地域の文化や伝統工芸を実際に見て、触れて、感じて、日本のすばらしさを再発見できる楽しきがあふれた客室です。例えば、加賀友禅や水引などの伝統工芸をちりばめた「加賀伝統工芸の間」（界 加賀）、島根発祥と言われる日本酒の樽や伝統工芸の藍染をモダンなデザインに落とし込んだ「玉湯の間」（界 玉造）、異国情緒あふれる長崎文化の要素を織り交ぜた「和華蘭の間」（界 雲仙）など、ご当地の文化を存分に体験できます。また、旅館らしい趣は保ちながら、ローベッドとソファを配した現代的で快適な空間であることも特徴です。



「加賀伝統工芸の間」（界 加賀）



「玉湯の間」（界 玉造）



「和華蘭の間」（界 雲仙）

2. 個性あふれる地域文化の魅力を楽しめるサービス「ご当地楽」

日本各地にある伝統工芸や芸能、食などの地域文化を無料で楽しめるサービスです。海を背景にダイナミックに披露する界 出雲の「石見神楽」や、茶処ならではのおもてなしでお茶の魅力を再発見する界 遠州の「美茶楽」、アイヌ民族の自然観に触れる界 ポロトの「イケマと花香の魔除けづくり」など、各地のユニークな文化を気軽に体験できます。



「石見神楽」（界 出雲）



「美茶楽」（界 遠州）



「イケマと花香の魔除けづくり」（界 ポロト）

3. 現代人のための湯治体験「うるはし現代湯治」

現代人のライフスタイルにフィットした1泊2日の本格的な湯治体験です。入浴前の温泉についての知識の習得や、入浴法の実践、湯上がりの過ごし方など、温泉入浴の効果を感じて楽しむ方法をまとめた五カ条に沿って過ごすことで、疲労した心と身体を調え（ととのえ）、明日への活力を生み出すことを目指します。また、各施設のスタッフが「界の湯守り」としてその案内人を務め、各地の温泉の特徴に合わせた「うるはし現代湯治」の楽しみ方や、施設の滞在モデルスケジュールを紹介します。



4.細部へのこだわり

滞在中、心地よく過ごすことができるように、細部にもこだわっています。ご当地の飲み物とともに湯涼みのひとときを楽しめる湯上がり処や、施設ごとに配色の異なる風呂敷、温泉入浴後におすすめの和漢生薬成分を用いたスキンケアアメニティーなど、温泉旅館ならではのおもてなしをご用意。食事処はゆったりとご当地の味覚や大切な人とのひとときを満喫できるよう、プライベート感のある半個室の空間を備えています。そのほか、極上の眠りを誘うオリジナルのマットレス「ふわくもスリープ」、客室以外のくつろぎ空間として地域にまつわる本やコーヒー・ハーブティーを備えたトラベルライブラリーなど、旅のニーズに遊び心を加えました。



湯上がり処



食事処



トラベルライブラリー

地域文化の魅力により深く触れる体験「^{てわざ}手業のひととき」

地域の文化を継承する職人や作家、生産者の方の希少な技を間近で見たり、一緒に行ったりできるご当地文化体験です。旅先で地域の方の営みに触れると新鮮な気持ちになり、心が豊かになる。そんな「ひととき」を全国の界で用意しています。

<体験例>

■界 ポロト：アイヌ伝統歌『ウポポ』を奏でるひととき

アイヌ民族の伝統音楽や歌舞は、先人から口伝いで受け継がれています。独特の節回しや、メロディー、リズムを、伝承者から直接耳で聞いて、真似ながら学び、歌い継ぐという「口承文芸」を実体験できます。

■界 仙石原：仙石原の自然をテーマにしたアート制作体験

客室や館内のアート作品を手掛けたアーティストによるレクチャーを受けながら、仙石原の大自然から受けるインスピレーションを生かしてアート作品を制作します。

■界 別府：別府つけ細工職人で行う一生モノのつけブラシ作り

1919年創業の工房を訪ね、「別府つけ細工」のルーツを知り、製作工程の見学や自分の髪質に合った「つけブラシ」を職人と共に作ります。使うほど髪に良くなじみ、銜色に風合いを増す一生モノのブラシです。



アイヌ伝統歌『ウポポ』を奏でるひととき



仙石原の自然をテーマにしたアート制作

別府つけ細工職人で行う
一生モノのつけブラシ作り

界が考えるサステナビリティ

「界」は、2011年のブランド誕生以来、温泉旅館ならではの癒しや寛ぎを生かしながら、その地域やその季節ならではのおもてなしを提供してきました。地域や季節を活かしたおもてなしをお客様に提供するためには、地域の伝統文化を守り、地域経済に貢献しながら旅館運営をすることが重要と考えています。

■地域の伝統工芸や文化を発信する

総務省が実施した伝統工芸に関する実態調査によると、これまでも様々な支援策が講じられてきたものの、生活様式や社会経済の変化、安価な類似品の流入といった背景事情により、伝統工芸品の需要が減少しています。これに伴い、伝統工芸品の生産額や従事者数も減少傾向にあり、今後、伝統工芸や伝統文化の継承が途絶えてしまうことが懸念されています（*1）。

温泉旅館ブランド「界」では、「ご当地部屋」「ご当地楽」「手業のひとつとき」という3つの取り組みを推進しています。伝統文化や伝統工芸、その土地の食文化などを温泉旅館のおもてなしに活用し、「界」が地域の魅力を発信し旅行者と地域をつなぐ架け橋になることを目指しています。

*1 総務省行政評価局、令和4年6月「伝統工芸の地域資源としての活用に関する実態調査」

■事業による環境負荷を低減する「エコロジカルな運営」

持続的に事業を営むためには、環境負荷の低減も重要です。星野リゾートおよび「界」では、プラスチックごみの削減を目的とし、「ペットボトルフリー」「ソープ類の個包装廃止」「歯ブラシリサイクル」を推進しています。

星野リゾートの取り組みはこちら：

https://drive.google.com/file/d/1n0Y4_zFxDSHKnE3CN9rBRhXxu4w3BQFn/view?usp=sharing

「界」とは

「界」は星野リゾートが全国に23施設を展開する温泉旅館ブランドです。「王道なのに、あたらしい。」をテーマに、その地域の伝統文化や工芸を体験する「ご当地楽」や、地域の文化に触れる客室「ご当地部屋」などを通じて、その地の「温泉文化」が楽しめるのが特徴です。2026年には「界 草津」（群馬県・草津温泉）、「界 宮島」（広島県・宮島口温泉）、「界 蔵王」（山形県・蔵王温泉）の3施設の開業、「界 松本」（長野県・浅間温泉）のリニューアルオープン、2027年には「界 嬉野」（佐賀県・嬉野温泉）の開業を予定しています。

URL：<https://hoshinoresorts.com/ja/brands/kai/>

